

令和2年度 事業報告書(令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	事業名	事業内容	時期	人数
清掃・植樹・自然再生	稚咲内砂丘林再生(町有林)	国立公園特別保護地区内において、ミズナラの森林(町有林)再生に向け、地域の方と一緒に苗畑の除草などの日常的な維持管理作業を行ったほか、秋に植樹イベントを実施し、植樹作業を行いました。	5-11月	160
	稚咲内海岸清掃	国立公園の稚咲内海岸に散乱している漂着ゴミ約970kgのゴミを回収し、国立公園の美化に貢献しました。	7-9月	60
	外来植物防除対策	国立公園内のオオハングソウ(特定外来生物)などの外来種除去作業や周辺に広がっていないかどうか巡視を行いました。特に稚咲内砂丘林縁部で発見された大群落の除去活動を集中的に取り組みました。	5-10月	80
	稚咲内砂丘林再生(国有林)	国有林の調査区画において、エゾシカの食害調査の補助、木々の計測等を実施した他、ミズナラ苗木の植樹などを行いました	9-11月	5
	コウホネ沼園地植生回復	ネムロコウホネの再移植に関する保全対策の検討のため植生調査を実施し、有識者ヒアリング及び助言のもと移植作業を行いました。	6-12月	-
	その他清掃・植樹・自然再生	地域で行われる清掃活動や植樹活動などに参加協力し、周辺の環境美化・保全等に貢献しました。	4-3月	10
動植物の生態や植生調査	チュウヒ調査・普及啓発	チュウヒの繁殖場所を特定し、チュウヒ保護のための基礎資料作りにつながる繁殖状況調査を実施し、チュウヒの保全に向けたパンフレット及びパネルを作成し、地域住民へ普及啓発活動を行いました。	4-3月	10
	チュウヒ調査・普及啓発	サロベツの国立公園でチュウヒの営巣地を含めた生息状況を把握し、その結果を踏まえ、豊富町内で報告会を開催しました。	4-3月	10
	シマアオジ分布調査	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、生息環境改善のために繁殖地に侵入したササの試験的除去を行いました。また報告会を開催し、シマアオジの国際的な状況も含め、危機的な状況を幅広く普及啓発を行いました。	4-3月	10
	シマアオジ分布調査	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、シマアオジ野鳥保護区における鳥類の生息状況および植生の概況を把握しました。	4-3月	10
	シマアオジパンフレット作製	シマアオジの情報を分かりやすく効果的に発信するため、一般向けのパンフレットを制作し、湿原センターで配布するなど普及啓発活動を行いました。	4-3月	10
	サントリーシマアオジ	シマアオジの普及啓発のための、パンフレット、エコバック、ステッカー、羊毛フェルト、Tシャツを制作し、湿原センターで販売を行いました。	4-3月	10
	ドローンによるタンチョウ調査	サロベツ湿原においてドローンを用いたタンチョウ繁殖状況の実施可能性調査を試行的に行い、同湿原内におけるタンチョウの繁殖状況の定期的な把握を実施しました。	4-3月	10
	ドローンによるタンチョウ調査	北海道宗谷地方全域でドローンを使用して陸上からは発見が困難なタンチョウの巣や姿を探索し、繁殖状況の調査を行った他、普及啓発のための勉強会を開催しました。	4-3月	10
	モニタリングサイト1000ガンカモ調査	ガンカモのモニタリングサイト1000に登録されている兜沼、ペンケ沼、振老沼(天塩町)で、ねぐら調査を春と秋に行い、種と個体数を数えました。	4-3月	10
	ほっくー基金砂丘林調査	稚咲内砂丘林における希少鳥類(ミコアイサ、アカエリカイツブリ、オジロワシ、クマゲラ)の繁殖調査、その他ドローンによる砂丘林の現況調査を行いました。また普及啓発のために報告会を開催しました。	4-3月	10
	ペンケ沼水鳥調査	ペンケ沼における水鳥・面積調査等を行い、渡りの中継地としての重要性や沼の面積減少を把握しました。	4-3月	10
	北海道大学風力発電勉強会	風力発電事業による影響を関係者や地域の方々に伝えるための勉強会を開催しました。	4-3月	10
	風力発電対応	周辺で計画されている風力発電計画に関する環境影響評価書に対して景観や動植物への影響に関する意見書の作成、協議会の参加、学習会の開催・参加、情報収集・発信を行いました。	4-3月	10

令和2年度 事業報告書(令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	事業名	事業内容	時期	人数
自然教室・セミナー	高校生 サブレンジャー 人材育成	サロベツ湿原センターを拠点として、国立公園利用者に対する自然解説や利用マナーの普及啓発、展示物製作、サロベツにおける動植物等自然情報の収集及び保全活動を行い、国立公園の適切な管理と利用推進を図ると共に、次世代の環境保全の担い手を育成することを目的として実施しました。	6-8月	60
	ジュニア パークレンジャー	地域の子ども達を対象に、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、自然に対する思いやりなど、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として国立公園での自然体験や環境学習会を実施しました。	4-3月	75
	なまら サロベツクラブ	地域の子ども達を対象に、四季を通じてサロベツの自然を体験し、地域との交流を通して、人・地域・自然を愛する心を養い、サロベツはもとより幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーの育成を目指すことを目的として実施しました。	4-3月	40
	講師派遣・人材 育成研修会	講演依頼や、講師派遣の依頼を受け、職員がセミナーや体験活動の講師を務めました。また、研修会の企画、派遣も行いました。	4-3月	-
	インターンシップ等	サロベツに来るインターンシップ等の学生の対応を行いました。	4-3月	-
	自然教室・ セミナーその他	サロベツに関するテーマで適宜セミナー・自然教室などを開催しました。	4-3月	-
地域活性化	郷土資料室 資料整理	豊富町内の郷土資料を把握し、整理・登録作業を行うと共に、今後に向けての保管・展示方針を検討しました。その他、資料室の移転作業を行いました。	11-3月	40
	豊富温泉活性化	豊富温泉の案内拠点や宿泊施設と連携し、湯治客や旅行者向けの定期体験プログラムを開催しました。ホテル観察、スノーシューなどその季節にしか体験できない魅力的なメニューを提供しました。	6-3月	70
	おもてなしスキル アップセミナー	豊富町、サロベツの恵まれた自然や食、産業などを地域の方々に知ってもらい、受講者自身が地元の魅力を外部に発信できるようになることを目的に、体験ツアー型のセミナーを開催しました。	10-2月	40
	サイクリング モデルコース調査	利用頻度の高いと思われる3時間以内の利用について、モデルコースを設定し、今後PRや営業資料として使用できる写真を撮影し、コース途中で見られる様々な資源を取りまとめました。	6-9月	-
	稚内市観光ガイド プログラム	稚内市の観光資源を自然分野の観点から調査し、ガイドプログラムの企画運営、及びモニターツアーを実施し、魅力的なガイドプログラムの確立を目指しました。また、各種調査や企画運営を通じて将来のガイド養成につながるノウハウの提供を行いました。	6-11月	-
	国立公園 誘客事業	利尻礼文サロベツ国立公園のサロベツ地域における国立公園への誘客を進めるため、国民保養温泉地である豊富温泉と連携して、サロベツならではの自然体験プログラムの企画運営、及びモニターツアーを実施することで、魅力的なガイドプログラムの確立を目指しました。後の事業の継続性を図るため、コース整備など必要な環境整備を行いました。	9-2月	-
	ワーケーション 事業	サロベツの冬の観光資源となり得るスノーシューガイドプログラムの企画運営、及びモニターツアーを実施し、魅力的なガイドプログラムの確立を目指しました。	9-2月	-
	冬のスノーシュー コース調査	稚内市の冬場の観光資源となり得るスノーシューガイドプログラムの企画運営、及びモニターツアーを実施し、魅力的なガイドプログラムの確立を目指しました。また、企画運営を通じて将来のガイド養成につながるノウハウの提供を行いました。	2月	-
	冬のサロベツ 広告宣伝業務	冬のサロベツ地域の写真を提供しました。	12月	-
	地域活性化その他	地域のイベントを開催、協力しました。	4-3月	-

令和2年度 事業報告書(令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで)
 特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	事業名	事業内容	時期	人数
施設維持管理 受託業務	サロベツ湿原センター管理運営・案内解説	サロベツ湿原センターの施設管理作業(館内清掃・展示物作成・施錠等)や、サロベツ湿原センターを訪れた方にサロベツ地域の自然情報提供、周辺の観光案内などを行いました。	4-3月	-
	サロベツ湿原センター 冬期除雪業務	冬期のサロベツ湿原センターにおいて、駐車場の除雪を行いました。	12-3月	-
	自然再生協議会関係・普及活動推進	自然再生の普及推進のため、現地見学ツアーの開催、サロベツ・エコモー・プロジェクトの推進、各種イベントの企画・運営などを行いました。また、自然再生協議会の事務局メンバーの一員として、事務局業務を分担しました。	4-3月	-
	木道維持管理	利尻礼文サロベツ国立公園サロベツ地域において環境省が整備を行った自然再生施設等において、定期的な点検を行うとともに、破損箇所の補修等を行い、適切に維持管理をしました。	5-10月	-
	大学生 サブレンジャー	サロベツ地域に訪れる利用者が集中する夏期期間中において、サロベツ湿原センター及び幌延ビジターセンターを拠点とし、サロベツ湿原の自然再生をはじめとする国立公園の保全管理や利用指導を充実させることを目的としていました。	7-9月	50
	稚咲内トイレ清掃	海岸線を車でドライブする観光客の方などが快適に利用できるよう、稚咲内トイレの清掃作業を行いました。	4-10月	180
	サロベツ湿原センター水質浄化湿地管理	サロベツ湿原センター敷地内にある水質浄化湿地を定期的に見回り、適切に機能しているかどうか点検作業を行いました。	6-10月	20
その他事業	物販・販売手数料	湿原センター・周辺観光施設・通信販売等でサロベツに関する商品を販売し、新商品を開発しました。	4-3月	-
	レンタル	スノーシュー、長靴、双眼鏡など、サロベツの自然を楽しんでもらうために必要な道具の貸し出しを行いました。	4-3月	-
	ガイド等活動	サロベツを訪れた方を対象に自然の魅力を伝える有料ガイド事業を行いました。	4-3月	-
	会費等	会員の方々に、会員継続と会費納入のお願いを行い、併せて新規会員の勧誘を行いました。	4-3月	-
	募金・寄付金等	サロベツの自然の保全活動や環境教育活動の支援を呼びかける募金箱を設置し、寄付を募りました。	4-3月	-
	イベント参加費等	サロベツに関する各種イベントを開催しました。	4-3月	-
	原稿料	自然系雑誌などからの依頼を受けて原稿を執筆しました。	4-3月	-
	雑収入	その他補助金等収入です。	4-3月	-
	受取利息	利息収入です。	4-3月	-
	その他	固定資産売却益など	-	-